

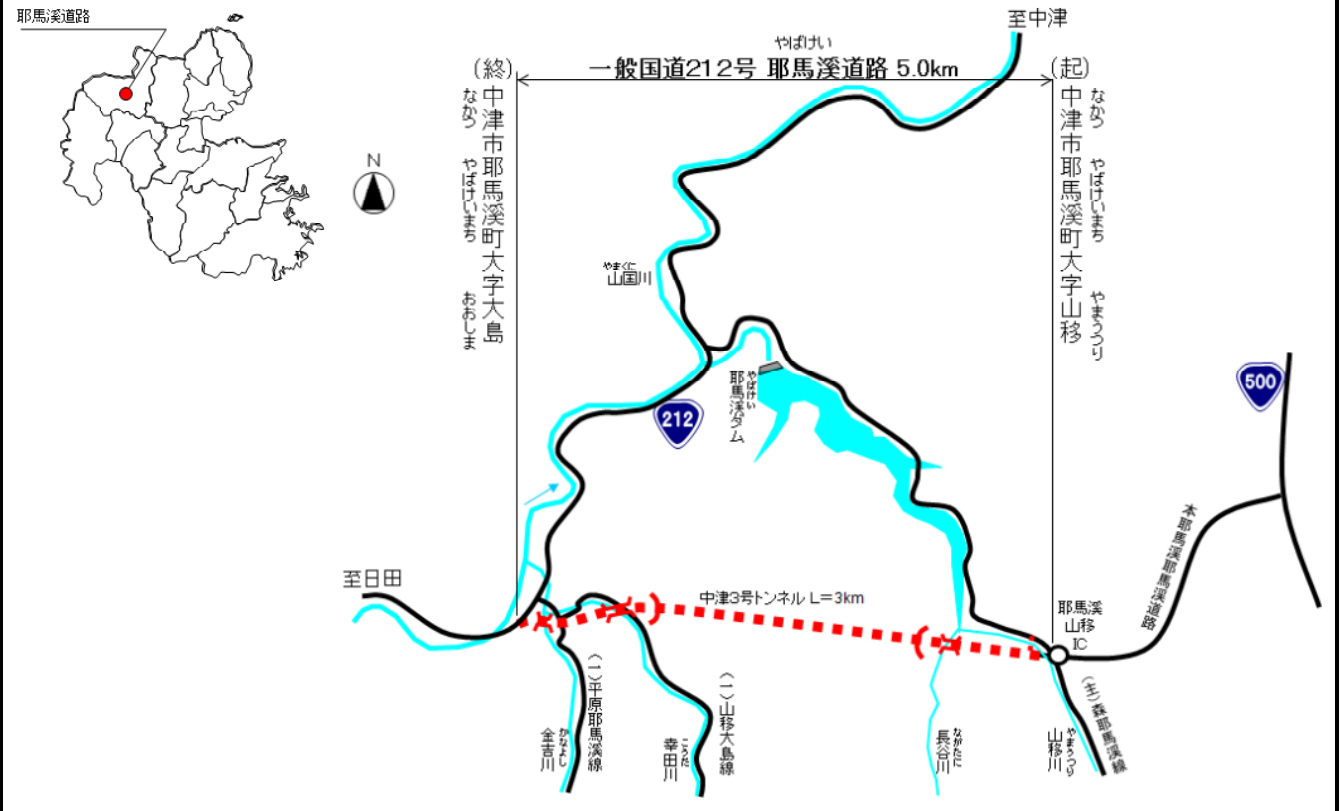
再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	地域高規格道路 中津日田道路 一般国道212号 耶馬溪道路	事業区分	一般国道	事業主体	大分県	
起終点	自：大分県中津市耶馬溪町大字山移 至：大分県中津市耶馬溪町大字大島	延長	5.0km			
事業概要						
当道路は、地域高規格道路である中津日田道路（延長約50km）の一部を担う延長5.0kmの道路であり、大分自動車道、東九州自動車道及び重点港湾中津港との連絡性の強化、産業の活性化、災害時の救援活動・緊急物資輸送路の確保を目的としたバイパス事業である。						
H20年度事業化		H23年度用地着手		H23年度工事着手		
全体事業費	170億円	事業進捗率	11%	供用済延長	0km	
計画交通量	10,400台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 1.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 129/147億円 (事業費：124/142億円 維持管理費：5/5億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 186/186億円 (走行時間短縮便益：134/134億円 走行経費減少便益：30/30億円 交通事故減少便益：22/22億円)	基準年	平成24年	
感度分析の結果						
交通量変動：B/C=1.4（交通量 +10%） B/C=1.1（交通量 -10%） 事業費変動：B/C=1.1（事業費 +10%） B/C=1.4（事業費 -10%） 事業期間変動：B/C=1.1（事業期間+20%） B/C=1.3（事業期間-20%）						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・重要港湾中津港と東九州自動車道及び大分自動車道を結ぶ循環型ネットワークの形成。 ・中津市（中津港）～日田市間で83分→50分と33分の時間短縮による交流人口の拡大及び物流の促進。（中津日田道路全線供用） ・豪雨や地震などの災害時には、住民の避難や救援物資の輸送など代替路としての機能が期待できる。 ・自動車関連産業をはじめとした各種産業の集積を促すとともに、産業活動や広域的な観光交流を支える役割が期待できる。 						
関係する地方公共団体等の意見						
中津市、日田市、宇佐市や市議会議長及び商工会議所等で構成する中津日田間地域高規格道路促進期成会（会長：中津市長）による要望活動が行われている。						
事業評価監視委員会の意見						
審議の結果、事業継続。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度末に中津港線・中津道路の3.6kmが供用開始。 ・平成23年度末に本耶馬溪耶馬溪道路の5.0kmが供用開始。 						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
平成23年度から用地買収及び改良工事に着手している。事業進捗率は、平成23年度末時点で約11%（事業費ベース）で、用地補償進捗率は約24%（面積ベース）となっている。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
地元や関係機関との協力体制のもと早期供用に向け用地買収及び工事等の事業進捗を図っていく。						
施設の構造や工法の変更等						
発生材、再生材使用や、新技術の活用を図っている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由						
以上の状況を踏まえると、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。						

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。